

あけましておめでとうございます。

皆様も新たな夢・希望に満ちた新年を迎えられたことと思います。

私自身、市長就任から2年目を迎えることとなりますが、私にとってもゼロから予算編成に携わることができた令和5年度当初予算をお示しすることとなります。昨年実施した様々な施策の種が芽吹き、大きく育つよう、本年も、人や企業に選ばれるまち裾野市を実現するため、日本一市民目線の市役所を目指して、市政運営にあたっていきたく思います。また、新しいことへのチャレンジもどんどんしていきます。

また、本年は職員の働く環境もこれまでとは大きく変え、今までの働き方、常識にとらわれることなく、柔軟な発想でより良い働き方をし、より良い行政サービスの提供に繋げていきます。

裾野市と市民のために職員一丸となって、精一杯活躍することを誓い、年頭の挨拶とします。

それでは、1月 月例記者会見の資料についてご説明申し上げます。

配布資料はございませんが、「裾野市民文化センター多目的ホール特定天井落下防止措置工事の実施について」です。

昨年 9 月 24 日に発生した裾野市民文化センター大ホールスプリンクラー事故を受けて、当初予定していた大ホール及び多目的ホールの特定天井落下防止措置工事については、一旦見合わせておりましたが、多目的ホールにつきましては令和 5 年度中の利用再開を目指し、本年度中に工事着手いたします。

市民サービスを考慮し、事故調査委員会の結論を待たずに着工可能な多目的ホールの工事を先行実施することとしたもので、令和 5 年 9 月からの利用再開を予定しています。